

五感で味わいつくす茶の世界

入間市博物館ALIT

夏真っ盛りの8月にスタートし、雪が降るのではという声も聞かれつつ実施した1月まで、断続的に5か月余りにわたって行ってきたALITの「五感で味わいつくす茶の世界」を振り返ってみます。

SMFで連携する5つの館のうち、入間市だけが「博物館」であることを意外に思われる方もおられますが、当館の愛称ALITのAは、ArtのA。美術館的な機能を持って展示や教育普及事業に取り組んで行くスタンスなのです。

一 聴いて味わう 時空を超えるお茶の旅

8月7日(日)に、第1回として熊本県の3軒のお茶農家で生産されている地ビールならぬ「地紅茶」の飲み比べと、蓄音機で熊本県の民謡・童謡を聴く事業を行いました。

国産第一号の機種である「ニッポノホン35号」で聴く民謡。そして、全国各地で生産されている地紅茶についての解説と試飲。通称「お茶の博物館」とも呼ばれるALITならではの事業になったかと思えます。また、実演の間にはALITで手摘みして製茶した「ALITの地紅茶」をアイスティーにして試飲していただきましたが、こちらも100名近い方にお楽しみいただきました。(参加者:55名)



12月4日(日)は第2回、富山県のバタバタ茶を体験しつつ、富山の民謡、おわら節を聴いていただきました。バタバタ茶は、後発酵茶を茶筌で泡立てて飲む「振り茶」風習のひとつなのですが、参加者は茶筌の扱いもすぐに慣れていました。昭和初期の機種も加えて蓄音機を2台に増やしたので、レコードの入れ替えて間延びせずに音楽も楽しんでいただけたことと思います。(参加者:66名)

1月8日(日)は最終回でした。台湾の半発酵茶、木柵鉄観音を飲みながら、バラエティ豊かな選曲を心がけて選んだ童謡、狭山茶にちなんだ歌、地方色豊かな民謡などのレコードに耳を傾けるひとときとなりました。(参加者:60名)

二 お茶の浮世絵特別公開

10月26日(水)より11月23日(水)まで常設展示室「茶の世界」にて、煎茶の製造工程を描いた作品や女礼式の中に描かれた茶席、季節感あふれる喫茶風景、そして、明和三美人の一人として知られる「笠森お仙」の浮世絵を展示しました。全て江戸から明治にかけての作品でしたが、見事な色彩感覚に見惚れる方、明治期に煎茶を輸出していたことに驚かれる方、お仙のポーズを真似てみる方など、各人各様にお楽しみいただけました。(展示期間中の観覧者数:3,538名)



三 アートお茶の間談義

11月12日(土)に、狭山茶の煎茶や、烏龍茶で染めた糸、野田双子織の反物や着物、入間華道連盟による生け花で演出した空間で、3つ目の当館の事業を行いました。野田双子織を始め地元の繊維産業の歴史についての話、古木染めや漆に始まり職人の徒弟制度についてのあれこれ話、国内ではホモジナイズされるのが当たり前となっている牛乳のナゼ? という話、ハチミツの色々な違いや都会での養蜂の話など、一見するとバラバラな話題が、住→衣→食と続いてきた「あなたとどこでもアート」の各テーマとつながっているところが、茶飲み話をするようにゆるやかな「お茶の間」と合っていました。

講師:水村雅啓(入間市文化創造アトリエAMIGO館長)、大河原勝(漆塗師)、國武建明(ダンテプロジェクト代表)、八木幸二(京都女子大学教授)※順不同(参加者:30名)



四 五感で味わうわび茶の空間

11月20日(日)に、当館での「おかわりプロジェクト」クライマックスともいえる事業を行いました。これは、当館の常設展示室「茶の世界」に設営されている、千利休が大坂城に作った現存しない茶室をさまざまな資料を基に復元したものが会場です。

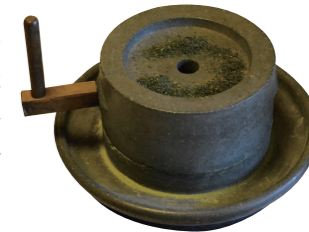
飲食禁止の展示室内にある茶室の中で抹茶をいただくという、開館以来22年経ちますが初めて行うチャレンジングな企画でした。



安土桃山時代に建てられた茅葺の二畳の茶室ですが、戸を締め切ると意外と温かい、想像していたよりも広く感じる、抹茶が美味しい、静かにしていると心が研ぎ澄まされる、など非常に好意的な感想が寄せられました。(参加者:37名)

五 てんからまつへ〜茶臼で挽くお茶のテンマツをたのしむ

11月23日(水・祝)に開催したこのイベントは、当館の中世抹茶の復元事業として行っている、森林内の茶葉から碾茶を作り抹茶にする試みを基にしています。



まず復元事業の取り組みを画像で紹介した後、用意しておいた挽きたての狭山抹茶「明松」を自分で点てていただくのと、茶臼についてのレクチャーを受けてから実際に「ふくみどり」の復元技法での碾茶を挽くことを行いました。

石臼の音、目に入る抹茶の緑色、香り、お茶を点てるときの茶筌の感触、そして味わい。まさに五感で抹茶を味わいつくせたのではないのでしょうか。(参加者:41名)

津久井浩一(運営委員)

